

タイカセサート大学 低学年派遣研修座談会



令和6年8月18日（日）～25日（日）の8日間、学術交流協定校であるタイ カセサート大学での研修が行われました。その参加者24名のうち、有志6名で座談会を行いました。

引率教員：鈴木修平 准教授、時田紗緒里 准教授 聞き手：上場一慶 助教

1年1組：榊原 遼 1年3組：三好悠介 1年3組：小木瑞貴 1年4組：福井由太 1年5組：鍋嶋謙太 2年1組：安藤梨琳

今回のタイカセサート大学の低学年派遣研修に参加しようと思ったきっかけは何でしょうか？

安藤：今回の研修に参加することで、今よりも視野を広げて、今の自分にはない考え方や考え方を身に付けたいと思って参加しました。

小木：去年国内線の飛行機に乗った時に、隣の方が外国人でした。席に座るためにその人によけられてもらわないといけなくなり、それを日本語でシスチャーでしかできなかったことがきっかけです。それで、もう少し英語を話せたらなって思っ、英語の力を高めるために今回の研修に参加しました。

福井：もともとタイが好きで、タイの異文化に対する寛容さについて、日本との違いを知りたいと思って参加しました。

三好：入学する前から、高専には海外研修制度があることを知っていて、もともと海外には興味があったことがきっかけです。若いうちに海外に一度行ってみたい方いいという話をよく聞いていたこともあり、すぐ行きたくなって参加しました。

鍋嶋：今、父親の会社の同期の人がタイの方に出張で行っていることもあり、それでタイはどんなところなのか興味があったこと、海外に出たことがなく、日本国内しか知らないの、国内だけじゃなくと視野が狭いかなと思っていて、いろいろな考え方や考え方を身につけるために海外に行っておいた方がいいだろうと思っていたので、参加しました。

榊原：もともと、すぐい英語が苦手だったことや、たて書いて勉強するとかだじやなく、普通に日常的に英語に触れてみたいと思って、今回の研修に参加しました。

研修に参加して得たものや、何かちよと変わったこと等気づきみたいなことはありましたか？

安藤：私は研修に行く前よりも、もっと自主的に行動する力がついたのを得たことができたと思っていて、自分からアクションを起こさないと何もできないというか、何も始められない環境に置かれていたの、大変なことの方が正直多かったんですけど、でもそこでちゃんと成長できて良かったなって思っています。

鈴木：安藤さんはたしか最終日、あえてタイで日本食レストランに挑戦したそうですね。寿司レストランで、日本との違いを結構楽しんでいたんですね。

小木：英語が上達したのと、積極的に行動するっていうか、屋台とか市場とか、あとはショッピングセンターとかに積極的に行動するようになったんじゃないかと思っています。

福井：今回の研修で得たものは、今まで自分に関わってきた人への感謝の気持ちです。今回の研修で、先生と学生だけで一緒に生活・行動して、いつも一緒に暮らしている人がある状況とは、違っていたことが多く、自分でも動揺しました。でも、その中からこそ、今まで自分に関わってきた人は、自分のことも考えて、僕自身のことまで考えてくれていて、なんかない感謝の気持ちを覚えました。

三好：最初から否定しちゃういけないなって思っていました。タイに行く前までは、英語もままならないような状況で、ちゃんと意思疎通できるのかなって思っていたんですけど、実際に行ってみると、タイの方も寄り添ってくれて、身振り手振りで、何とかコミュニケーションが取れました。やっぱり最初から否定せずに、まずはやって

みるのが重要だなと感じました。

鍋嶋：三好君と少し似てるんですけど、タイに行く前は、英語のコミュニケーションについては、結構自分の中ではハードルが高いものでした。でも、今回タイに行くと、今まで勉強してきたような感じで、文法とか、自分のイメージ通りで、現地の方々と話ができました。思っていたよりも、自分の中で英会話のハードルが下がって、より一層英語を勉強したいと思いました。それと、今まで英語が話せなくても三好くんも勇気を出して話しかけていくということも結構大事だと思いました。

三好：今回の研修で、英語が全然通じない時もありましたが、それでもいい体験になったので、成功失敗にとらわれずチャレンジできたらいいなと思いました。

いまだから言える失敗談

安藤：タイに持って行く荷物の準備を、もう少しきちんとやっておくべきだなと思いました。ドライヤーとか変圧器が使用できなかった、困ってしまったので、特に電気製品とか、そういう類の荷物はしっかり確認しておくべきだなと思いました。

小木：帰国した後に気づきましたが、首の後ろの皮膚が乾燥肌っぽい症状になっていました。日差しの強さと、湿度が低かったので、日焼け止めと保湿剤を持っていけばよかったなと思っています。

福井：個人的に失敗だと思ったことは、タイに持っていった服装です。暑いという印象があったので、短パン半袖を多く持っていたんですけど、室内は少し寒いぐらいでした。短パンをはいて行動していると、少し寒さを感じたときもあったので、もう少し長スボンや、暖かくなる服装も持っていた方がいいなと思いました。

鈴木：そうですね。大学の授業とか見学に行きましたが、冷房がキンキンに効いていましたね。ちょっと長袖とか羽織るものが必要かもしれないですね。

三好：僕の失敗は、タイの研修の中間ぐらいの日程の時に、部屋の冷房の温度を下げて外に出ると、すごい暑かったの、その寒暖差でやられてしまったんです。部屋でもちゃんと長袖着たりとか、温度をもっと少し上げてたりして、対策を取るべきだったなと思いました。

鍋嶋：大学の近くにあるスーパーとかに買い物に行ったりしてたんですけど、その店員さんが、大学の近くだから、英語もちゃんと通じるかなと考えていたら、英語が全然通じなくて、タイ語だけだったので、もう少し現地の言葉を学んでいた方が良かったかなと思いました。それと、三好君と同じで体調を崩しちゃったので、体調管理も大事だなと思いました。

榊原：この研修の失敗は、やっぱり辛い日の食生活で、一回お腹壊しちゃったことですね。辛いものが好きなんですけど、やっぱりやり過ぎは何事もよくないなって思いました。

鈴木：何かとめを刺した食べ物がありましたか？

榊原：タイのカップラーメンなんですけど、本当に辛かったです。日本のもとは比べ物にならないくらい辛くて、ちよとあれでどめ刺されちゃいました。

これから研修に参加する学生にアドバイスをするとしたら、

安藤：研修は楽しいこととか、面白いことが多いんですけど、それと同時に日本とは文化が異なる部分が多かったの、言葉が通じなかったり、大変なことも多かったんです。でも、それを乗り越えたら、達成感が得られます。自分自身の成長につながったりする



ので、頑張っではいなくと思います。

鈴木…観光旅行ではないので、終わったら達成感がありますよね。自分の力でここに行けたんだとか。すごいです。

小木…この研修に参加して、英語が身に付いたのと、何となくですが講義の内容とか、BTS（首都バンコクを走る電車「通称：スカイトレイン」）の運営会社の説明とか、あとカセサート大学の設備とかについてわかったので、達成感もありました。この研修で、英語力とタイ語の方も多少は上達すると思うので、とりあえず参加してみたいと思います。

鈴木…見学先は、全部英語で説明でしたよね。タイ語訳りだっけ？みんな一生懸命理解しようとして、大事なところは理解してたよね。すごいなと思います。

福井…アドバイスしたいことは、やり過ぎはよくないんですけど、いろんなことにチャレンジしてほしいということです。町の景色とかも違うし、気温とかも違うし、文化も違うので、受ける刺激が違います。できればいろんな事に挑戦して、日本では体験できないような事を少しでも体験して来てほしいなと思います。

鈴木…自由時間は、学生だけでスカイトレインのついで、確か市街地まで行ったと聞いたので、その行動力はすごいなと思います。

三好…日本に帰る際のお土産として、タイ米を買っていたんですけど、それが税関ではダメだったらしく、取られてしまい、悲しい気持ちになってしまいました。全部のことに共通すると思うんですけど、下準備とか確認はした方がいいなと思います。

鈴木…そうですね、生米とか持たず、タイ米でも構いません。

鍋嶋…研修と最初聞いて、ちよと堅苦しく聞えるかもいれませんが、最初に研修って聞いていたイメージよりは、実際そんな固くないです。いろんなことを楽しく学べたりします。若いうち

から海外に行くという、かなり貴重な経験にもなるし、行けるなら行ってみたい方が多いかなと思います。ただ、親戚とかにお菓子配る時には、自分の想像してる2倍くらい買つとかないとならないので、気を付けてください。

（一同笑）

鈴木…勉強というよりは、調理実習とか、タイのボクシング実習とかもあって、そんなに堅苦しくなく、楽しんでやるものが多かったですね。

神原…海外怖くて、絶対いけないと思ったんですけど、いざ行ってみたら、やっぱり楽しくて。最初すごい怖いんですけど、いい体験もできて楽しいので、ぜひ行ってみたいと思います。

今回の経験を今後どのように活かしていきたいですか？

安藤…この研修で得たもの、ときに言ったんですけど、自主性を得ることができたと思ったので、これからの授業内でのグループワークとかに活かしたいです。実習等で自主性を発揮して話し合いとか行動とかをスムーズにできるようにしたいなと思いました。

小木…今回の研修で、英語を使ったコミュニケーション力などを得たので、日本でもその英語を使って、外国の人たちとコミュニケーションを取れるようにしたいなと思っています。

福井…今回の研修は、普通の高校ではあまりないような、保護者なしで学生だけで海外に行くという機会なので、そういう経験をしたいという自信を持って、今後いろんなことにまたチャレンジしていきたいなと思います。

三好…タイは、第一言語が英語じゃないのに、やはり英語が必要だと感じました。第一言語じゃないのに、あそこまで必要性があることは、第一言語の国はもう必要と必要性があると思いい、改めて英語の大切さを実感できたので、もっと英語に力を注ぎたいと思っています。

鍋嶋…研修で得たもの、ときに言ったんですけど、英語に対してのハードルが少し下がったので、意欲的にもっと英語を勉強して行きたいなと思いました。これから学年が上がるにつれて海外研修もいろんなところに行けるようになるので、積極的に参加していきたいなと思っています。

神原…今回の研修で、たくさん英語喋りたりして、英語は必要だと思ったので、これからもっと頑張りたいという意欲と、最初怖かったんですけど、いろんなことにチャレンジして楽しかったことで成功失敗にとらわれず、たくさんチャレンジしていこうと思います。

鈴木…みんないい経験になったみたいですね。

PART1 番外編

特に美味しかったものを一人ずつ教えてください。

安藤…カセサート大学の食堂にあった、シーフードカレーが一番美味しかったです。

小木…カセサート大学内にあった、春雨の麺の辛いのが、美味しかったです。

福井…カセサート大学の食堂のロケットという・・・なんていうかな？クレープみたいな生地を揚げ焼きにしたものに、チョコとか練乳をのせて食べて食べる甘い食べ物が好きです。

鈴木…みんななかわりしてましたね。

（一同笑）

三好…ロティが一番美味しくて、日本でも食べたいです。1000パーツとかで、しかもすごい美味しくて、まあ太りはそうないです。

（一同笑）

鍋嶋…かなり悩ましいんですけど、個人的にはカオマンガイがすごく美味しかったですね。日本とは違ってタイ米だったのと、ちよとご飯にも鳥の味がして、日本じゃあんまり食べられないものだったので、美味しかったです。

神原…僕も結構そのチキンライスみたいのが好きでした。それにめちゃくちゃ辛いものをたっぷりかけて食べるんです。めっちゃ好きです。

授業時間外で印象に残ったことは？ おすすめスポットは？

安藤…私はちよと地味なんですけど、コンランドリーに行つて、服を洗濯したりしたんですけど、表示されている文字が英語とかタイ語が多くて、洗濯するのに結構苦労したなと思っています。

鈴木…そうですね、タイ語表示が多いですね。せめて英語で書いてくれたらいいですね。

（一同うなずく）

小木…トップスマーケットでパンなどを買ったんですけど、タイのパンでも普通の日本のベーカリーとかで食べるようなパンの味がして安心しました。

福井…僕は食べた果物があつて、市場に行きました。おすすめの市場が、カセサート大学に近いアモンパン市場というところ、でいろいろ雑貨とかも売って、食べ物とか果物とかも売って、すごいおすすめです。

三好…研修が終わった後、ちよと散歩してたんですが、その時駄菓子屋みたいなお店があつて、そこで飲み物を買ったんですけど、店員さんがすごく優しく、良くしてくれて、あそこはお気に入りの場所ですね。大学から歩いていけるところだから、多分近いところにあるので、ぜひ探してみたいです。

鍋嶋…トップスマーケットに入ってるMKレストランという、しゃぶしゃぶ屋さんにいったんですけど、日本の九州の方にもあるんですね。日本のお店には何回か行って、タイはどんな感じなのかと思って行ったんですけど、日本と変わらず美味しかったです。結構お手頃な価格で食べられたので、おすすめです。3人で行って、1,000バーツしかかたんです。

神原…どこか忘れたんですけど、本屋を見つけて入ったんですが、日本にも売られている漫画がたくさんあつて、英語版のタイ語版のもあったんですけど、そこをちよと読んでみたら、やっぱり面白かったんで、また行きたいです。

日本に帰って最初に食べたものを覚えていたら教えてください。

安藤…私は帰ってお寿司を食べました。

（一同あー）

小木…私は帰って大根の味噌汁と、うどんが白米を食べたような気がします。

福井…僕は帰ってから、天ぷらを食べました。

三好…帰ってきたから食べたのは、焼き鮭と米とみそ汁です。

鍋嶋…詳しく覚えてないんですけど、たしか鯖の味噌煮を食べた気がします。

神原…帰って一番最初にカツ丼を食べたんですよ。本当、美味しかったです。日本米が懐かしかったです。

鈴木…僕はご飯と味噌汁です。すぐ味噌汁作って食べました。

時田…僕はご飯と味噌汁です。その後、札幌駅に移動したんですけど、駅構内の寿司屋で食べました。

※1パーツは日本円で4〜5円程度

番外編 PART2

《先生方から感想》

鈴木：全般的にあまり手がからなかったですね。

時田：そうなんです。大学の方から提供されているプログラムがすごく充実していたので、教員は、それに一緒に参加したり、ついて行って楽しむ様子を見てるみたいな感じでした。

鈴木：異国で、どうしたらいいかって困ってる学生の姿があまりなくて、頼もしい感じでした。今日ここ行ってきた！とか、みんな自分でどんどん開拓してくださるんですね。そういう報告を受けて、自分たちなりに楽しんで、いい経験できたんじゃないかなって思ってます。帰る前になんか塩鮭とご飯、普通の和食を食べたいとか言っている子いましたよね。なんか日本のシンプルな味の方が懐かしくなってる子が多かったような気がします。お茶漬けが食べたいとか聞いて、なるほどと思いました。

時田：優しい味に飢えますよね。

福井くんが「アモンパン市場」で買った果物
ドラゴンフルーツ、スイカ、マンゴスチン、ランブータン、ロンガンで全部買うことができた。その中で美味しかったものは、ドラゴンフルーツとマンゴスチン。



ドラゴンフルーツ



マンゴスチン

・象乗り体験のときの屋台で蚕を揚げたものが売っていた。何人か挑戦した学生がいる。味はエビみたいな味でサクツとして美味しかった。

- ・そのほかにも、マンゴーやバナナも美味しかった。
- ・学食に売っていたバナナスムージーやオレオスムージーも美味しかった。
- ・学生に大人気だった「ロティ」は甘いものとしょっぱいものがある。昼時は現地の学生も買いに来るので、混んでいない朝がおすすめ。調理実習でお昼ごはんを食べた後にも買いに行つた。



チョコレートロティ



チキンマタパロティ